

7月31日、8月17日、20日 大雨、台風による被害状況報告

7月31日の局地的大雨、8月17日、20日の台風は、剣淵町内に多くの爪痕を残しました。特に7月31日の局地的大雨は、河川の増水や田畑の冠水など大きな被害をもたらしました。

7月31日の局地的大雨では、1時間当たりの降水量が53^ミと観測開始以来、最多となりました。レークサイド桜岡へ向かう道道では、斜面が崩れ、樹木や泥が道路を覆って通行止めとなりました。また、元町アンダーパスも冠水し、復旧までに1日かかりました。

住宅では床上、床下浸水計9件の被害が発生。農業被害も深刻で、農作物や農地、農業用施設への土砂流入も報告されました。

8月17日、20日には台風の影響による大雨で川が氾濫する恐れがあったため、付近の住民に対し、避難準備情報を出しました。

町では災害復旧のため、9月の町議会臨時会及び定例会に合計1億1千157万円の補正予算を計上し、可決されました。

1日でも早い復旧が望まれます。



道道上土別ビバカルウシ線の斜面崩れ



東町 刈分川氾濫



西岡浄水場配水池土砂崩れ



林道小沢線（路盤材流出）



西岡町 小沢川氾濫



南桜町 パンペケオッペ川氾濫

◇災害に備えるために

急いで避難しなければいけない災害時に、あまり多くのものを持ち出す余裕はありません。そのような場合に備えて、避難をする時に持ち出すもの、被災後の生活に必要なものなど、日頃から用意しておきましょう。

・避難時に持ち出すもの（非常持出品）

【あくまでも参考情報です。個人で各家庭に合わせた用意をする事が大切です。】

- ラジオ
 - 靴・スリッパ
 - 着替え
 - 懐中電灯
 - 現金（硬貨も）
 - 笛（ホイッスル）
 - 保険証や免許証のコピー
 - お薬手帳
 - メガネなどないと困るもの
 - リュックタイプの袋などにまとめておき、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。
- また、あらかじめ誰が何を持ち出すのか、それぞれ担当を決めておくといでしょう。
- 飲料水や食品などは賞味期限など定期的にチェックしましょう。